

藝 振



大分県芸術文化振興会議

No.114

平成15.9

も く じ	
芸術文化の一層の振興を	1
大分県民芸術文化祭・オープニングステージ	2
・開幕行事	2
・中幕行事	3
・閉幕行事	3
大分県民芸術文化祭主催行事共催行事	4
40周年記念事業	5
加盟団体活動紹介	6
新役員紹介	7
事務局だより	8

発行人：脇 正人 編集人：橋本謙司 (題字：平 滋貴)



芸術文化の一層の振興を

大分県知事

広瀬 勝 貞

芸術の秋も日ごとに深まり、大分県芸術文化振興会議の皆様方におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

本県では、これから11月にかけて今年で第5回目となる大分県民芸術文化祭が開催され、県内各地において、文芸、美術、音楽、舞踊、演劇など様々な分野で170を超える行事が開催されます。今年は、「出航（ふなで）2003」と名付け、時代の風をはらんだ新しい旅立ちをテーマとしました。芸術文化振興会議の皆様方には県内芸術文化の核として、今年もまた芸術文化祭を盛り上げていただくようお願いします。

また、大分県芸術文化振興会議は来年度創設40周年を迎え、10月には、記念式典や文芸、美術、舞台部門で記念行事を開催するほか、今後の事業や活動等についても組織内で活発に論議し検討していると聞いています。40周年記念事業を皆様の総意で成功させ、これまで40年の活動実績を基に、今後さらなる発展をとげられるよう期待しています。

文化は県民に安心、活力をもたらす非常に大きな力であり、社会の安定と発展に欠かすことのできないものです。大分県では、今年度中に芸術文化振興に関する基本的事項を定める「大分県文化振興条例」（仮称）を制定する予定です。平成13年に制定された国の「文化芸術振興基本法」の精神にのっとりながら、本県の文化振興に対する積極的な姿勢を明確に打ち出し、文化振興基本方針の策定や文化審議会を設置、県民、文化団体、企業、地域社会、行政のそれぞれの役割の明確化、企業等の文化支援活動の促進などを盛り込み、総合的、継続的な文化行政を進めていくこととしています。

今後の本県の芸術文化の振興にさらに一層のご理解、ご協力をいただくようお願いいたします。



宮本 修 (県美協会員)

新しい舞台表現=県民詩劇への挑戦



オープニングステージ

「^あ白水郎の詩 ^ま ^{うた} ^{ふるさと} 故郷～ゆめは今もめぐりて」

演出・構成 川谷和也

大切な舞台の演出させて頂くことになり、大へん名誉に思っております。

佐々木均太郎先生の原作は、国木田独歩を主人公に、大分県南の豊かな自然、そこに生きる人々、文化や歴史がちりばめられ、素晴らしい内容です。

これを舞台化するにあたり、先生と相談の上、ダイナミックなアレンジを施してみました。地域の伝統芸能や叙情詩的語り、唄、演劇など様々な要素を取り入れ、ベースに一貫性を持たすため、開幕から終演まで大分交響楽団による演奏を考案しました。曲目はチェコの作曲家ドヴォルザークの作品です。彼と独歩は同時代の人であること、二人とも異境の地に教師として赴任し、そこで感性を触発されたことなど、共通のアイデンティティがあったからです。また、ギリシャ演劇に登場するコロス（合唱隊）も群読という珍しいセリフで登場し、物語を高揚させます。

ストーリーテラーで時空を越えた独歩を演じるのは、大分県出身の国際俳優・塩屋俊さん。グローバルな視点と抜群の語学力は独歩と共通します。

独歩がどんな人だったか、そして独歩の魂に輝きを与えた「大分」のエネルギーとは何だったのか、今まで何処にもなかった新しい舞台表現「県民詩劇」で感動頂けるよう、私も全力で取り組んでいます。お楽しみに！



開幕行事

「九重発の“文化の華”手づくりミュージカル「星生山の星太郎」

九重創作ミュージカル実行委員会
代表（九重町助役）帆足顕弼

第5回大分県民芸術文化祭開幕行事に、創作ミュージカル「星生山の星太郎」を脚本中沢とおる氏、演出清末典子氏、作曲藤原いくろう氏、振付佐藤容子氏等の各分野でご活躍されている専門家の皆様の指導をいただき、上演できますことに心から感謝を申し上げます。

九重町には、自慢できるもの誇れるものがたくさんあります。その一つが本作品の素材となりました自然美や風土です。町の面積の約半分が国立公園・国定公園に指定されているように、高原美・火山景観・温泉群・滝などの美しい自然景観は後世に引き継ぎたい財産です。

この自然に負けないもう一つの自慢が町民パワーです。「星生山の星太郎」のキャスト・スタッフは幼稚園児から70歳代の高齢者まで、職業もまたさまざまです。舞台装置や衣装づくり、メイク指導などを含めると総勢100人を超えます。私たちは、この2年間、週3回の練習と土・日の特別稽古を重ねてきました。このエネルギーと行動力とスタッフの支えにより本作品が完成いたしました。九重発の“文化の華”を県都大分市で大きく開花させたいと思います。どうぞご期待ください。



中幕行事

Jazz Academy in Oita

～渡辺貞夫 with Swing Echoes～

スウィング・エコーズ・ジャズオーケストラ

代表 木本直伸

第5回大分県民芸術文化祭に、世界のトップアーティストである渡辺貞夫氏を迎えて開催できることを大変光栄に思います。

私どもスウィング・エコーズ・ジャズオーケストラは県内で最も歴史のあるビッグバンドとして、昭和42年の結成以来、ライブハウスや地域のイベントでの演奏など活発な活動を行ってきました。平成3年から始まった定期演奏会ではジャズボーカリストのマリーンさんやサクソプレイヤーのマルタさんなどとの共演も果たし、メンバーには大きな刺激となるとともに演奏技術の向上にも大きく役立ちました。

今回は大分県吹奏楽連盟との共催、「Jazz Academy in Oita」というタイトルで渡辺貞夫氏を招き、1日目に大分西高等学校吹奏楽部と小学生の吹奏楽バンド、ウィンドアンサンブル荷揚をモデルバンドとしたクリニック、2日目にスウィングエコーズと渡辺貞夫氏の共演ステージをメインに高校生、小学生、渡辺貞夫氏との夢の共演も実現します。素晴らしいステージをお送りできると確信しております。ご期待ください。



閉幕行事

「マンドリンの饗宴 大分と東京を結んで」

大分マンドリンオーケストラ

会長 宮吉 寛

芸術の秋、第5回大分県民芸術文化祭の閉幕行事を仰せつかりました。

結成50周年に相応しい記念行事として画期的な演奏会を企画しました。まず、湯布院の民話による当団創作音楽物語「石になった修行僧」を芸術文化短期大学声楽科の方々の賛助出演により共演。また、大分県を題材にした当団創作曲「くじゅう讃歌」の初演、そして「国民文化祭おおいだ」のために創作、初演されました久保田孝氏の「詩的幻想曲“過去への祈り”」の作曲者自身の指揮による再演。しかも私どもが「マンドリン界のベルリンフィル」と呼んでおります姉妹団体「クボタフィロマンドリーネンオーケスター」との合同演奏です。他に「クボタフィロ」の驚嘆に値する単独演奏もはあります。どうぞお聞きのがしなく。

第5回県民芸術文化祭 主催行事・共催行事

主催行事

行 事 名	主催団体	開催月日		開催場所
開幕行事 ミュージカル「星生山の星太郎」	九重創作ミュージカル 実行委員会	10月5日(日)	13:30~16:00	県立総合文化センター グランシアタ
中幕行事 Jazz Academy in Oita ～渡辺貞夫 with Swing Echoes Jazz Orchestra～	スウィング・エコーズ・ ジャズ・オーケストラ	11月8日(土) 11月9日(日)	14:00~16:00 18:00~20:00	県立総合文化センター 音の泉ホール グランシアタ
閉幕行事 大分マンドリンオーケストラ創立50周年記念 第17回定期演奏会	大分マンドリン オーケストラ	11月23日(日)	14:00~16:30	県立芸術会館
第39回大分県美術展	大分県美術協会	9月30日(火)~ 10月19日(日)		県立芸術会館

共催行事

第32回「グループUNO」コンサート	グループUNO	10月10日(金)	18:30~20:30	大分文化会館第1小ホール
第37回大分県俳句大会	大分県俳句連盟	11月3日(月)	10:00~16:00	大分市コンパルホール
第13回大分の書を求める豊墨会展	大分の書求める豊墨会	11月12日(水)~ 11月16日(日)	10:00~17:00	大分市アートプラザ
第39回大分県短歌コンクール	大分県短歌クラブ	11月16日(日)	10:00~16:00	大分文化会館
大分県室内楽協会第9回定期演奏会	大分県室内楽協会	11月20日(木)	19:00~21:00	県立総合文化センター 音の泉ホール

創作作品上演

オペラ「瀧廉太郎」	オペラ「瀧廉太郎」豊後高田市 実行委員会	11月30日(日)	13:30~15:30	豊後高田市 中央公民館
-----------	-------------------------	-----------	-------------	----------------

これから開催される補助事業

実施時期	事業名	会 場	主催団体
10月1日~11月23日	佐伯市芸術文化祭	佐伯市文化会館他	佐伯文化振興会
10月5日	第43回大分県三曲協会定期演奏会	コンパルホール	大分県三曲協会
10月19日	第39回大分県人形劇フェスティバル 第15回湯布院人形劇カーニバル	湯布院町中央公民館	大分県人形劇 サークル協議会
10月24日~26日	第56回大分県高文連中央演劇祭	エトピアおおの	大分県高等学校 文化連盟
10月25~26日	第45回臼杵市秋の文化祭	臼杵市民会館他	臼杵市文化連盟
11月1日~16日	第33回国東町総合文化祭	国東総合文化センター	国東町文化協会
11月1日~4日	第6回三重町文化祭	エトピアおおの他	三重町文化協会
11月2日	萬謡会民謡フェスタ2003	大分市能楽堂	萬謡会
11月3日~8日・9日	第34回玖珠町文化祭	くすまちメルサンホール	玖珠町文化振興会
11月6日	歌曲の会第11回演奏会~花筐(はながたみ)~	音の泉ホール	歌曲の会
11月7~9日	第40回山香町総合文化祭	山香町中央公民館他	山香町文化連盟
11月8・9日	第33回津久見市文化祭	津久見市民会館	津久見市文化協会
11月9日	オペラ「瀧廉太郎」	大分県立芸術会館	大分県県民オペラ協会
11月9日	第40回大分県児童文化祭	はさま未来館	大分県児童文化研究会
11月12日~18日	第26回大分県俳画作品展	レインボービル	大分県俳画協会
11月16日	大分県太鼓連合チャリティ コンサート	はさま未来館	大分県太鼓連合
11月17日	第34回日本興道吟詩会大分県本部吟詩舞道大会	市町村会館	関心流日本興道吟詩会大分県本部
11月18日~24日	第33回大分県日本画展	大分県立芸術会館	大分県日本画協会
11月24日	現代創作民話劇 どんこんならんど温泉珍騒動	大分県立芸術会館	大分県民演劇制作協議会
11月26日~31日	第38回豊光会展	大分県立芸術会館	豊光会
12月2日~7日	新潮流展'03	大分県立芸術会館	新潮流の会
12月2日~7日	創元会大分支部展	大分県立芸術会館	創元会大分支部
12月6日	第43回定期演奏会	音の泉ホール	大分大学混声合唱団コレティッヒ
12月21日	第19回大分市少年少女合唱団定期演奏会	大分県立芸術会館	大分市少年少女合唱団
12月27日	第29回大分県吹奏楽アンサンブルコンテスト	音の泉ホール	大分県吹奏楽連盟
16年1月27日~2月1日	水彩連盟大分支部展	アートプラザ	水彩連盟大分支部
平成16年2月17日	平成15年度大分県合唱講習会	コンパルホール	大分県合唱連盟
平成16年3月	大分ジュニアコーラス定期演奏会	NHKスタジオホールキャンパス	大分ジュニアコーラス

詳しくは主催団体におたずねください。

大分県芸術文化振興会議40周年記念事業企画委員名簿

役職名	部門	氏名
委員長		脇 正 人
副委員長	演 劇	中 沢 とおる
委 員	文 芸	佐々木 均太郎
〃	文 芸	倉 田 紘 文
〃	美 術	脇 坂 秀 樹
〃	美 術	久保木 真 人
〃	音 楽 (洋)	小 長 久 子
〃	音 楽 (洋)	辛 島 光 義
〃	音 楽 (和)	安 東 陽
〃	舞 踊 (洋)	佐 藤 朱 音
〃	舞 踊 (和)	花 柳 笹之丞
〃	能楽・生活文化・文化財・総合	河 野 俊 一
〃	地域文化	中 野 幸 和
〃	その他学識経験者等	狭 間 久

40周年記念事業については企画委員会を中心に検討を重ねております。特に大がかりなものとなる特別公演は三浦梅園の思想世界を音楽、舞踊など舞台関係の団体多数の参加で実施されるもので、台本・演出をふじたあさや氏に依頼することになりました。ふじた氏も9月1日来分し、特別公演実施部会に出席、国東半島を訪れシナリオハンティングに取りかかっています。

ふじたあさや氏プロフィール

1934年 東京生まれ。早大演劇科在学中に「富士山麓」(福田義之合作)でデビュー。

仮面劇場・三十人会を経て、劇団えるむ、総合劇集団俳優館、音楽集団歌座で脚本演出を担当。現在、太鼓新歌舞伎「阿國・わらう」の脚本・演出を手がけている。

(社)日本演劇協会理事、日本劇作家協会理事、日本演出者協会元理事長、(社)日本劇団協議会常務理事、(社)日本芸能実演家団体協議会理事、日本児童青少年演劇劇団協同組合理事、アシテジ日本センター理事ほか。

主な作品

『さんしょう太夫』(1975 齊田喬戯曲賞受賞)

『しのだづま考』(1991 文化庁芸術祭賞受賞)

フォークオペラ『うたよみざる』(1990 文化庁芸術祭賞受賞)

ほか脚本・演出作品多数。



添え物でない文化創造

大分県水墨画協会 詫間 夢鳳

協会が発足して満7年目を迎える。現在200名を越す会員が活動する団体に成長した。協会発足のきっかけは「大分で開かれる国民文化祭に“水墨画”がない。なしか!?!」から。県内の有志が7年前に集まり結成、活動を開始した。

逆にビックリしたのは国民文化祭を過去12回開催しているのに水墨画の部門がないことを誰も疑問に思わなかったことである。時も時、大野町が“水墨画の町づくり”を宣言したので、ここを会場にし全国から作品を公募して成功裏に終わった。

その後全九州協会の設立、「九州公募展」の開催に大分が大きな指導力を発揮するだけでなく、出品作品のレベルも西日本有数の高レベルを維持し、中には美術館買い上げが出るほどの成長ぶりを続けている。この間中国・上海市水墨画協会との交流も始まり活動範囲も広がっている。今年から日本伝統の美意識をベースに県下の小・中学生に水墨画を学んでもらうべく準備を進めている。「竹田」を生んだ大分の地に日本画の添え物ではない文化を創造するために。



2002年11月 揮毫式での会長



地道にアンサンブルの美を求めて

大分県室内楽協会 辛島 光義

ちょうど5年前の国民文化祭を大分で迎えようとする頃、県内の有志により結成されたのが「大分県室内楽協会」です。我が協会の特長は弦楽器部門、管楽器部門、ピアノ部門の器楽のみならず声楽部門も備えていることで、協会合奏団として弦楽合奏団を組織し、年1回の演奏会を開催しつつ色々なイベントに参加しています。

県内では数少ない弦楽アンサンブルとして貴重な存在です。

今年は11月20日に“音の泉ホール”で県民芸術文化祭の共催行事として第9回定期演奏会を開催します。音楽の分野では極めて地味なものですが、きっと心癒されるものと確信致します。

今後もアンサンブルの美しさを求めて活動を続けていきたいと願っています。



室内楽の祭典

新役員紹介

団体代表者等の変更により3名の方が新しく理事に就任されましたので、ご紹介いたします。

後藤 滉霊 理事 (日本詩道会)

私も吟詠を始めてやがて30年、私の所属する光霊流は徳川末期の儒学者広瀬淡窓先生が弟子達に漢詩を口ずさむ吟調を深田宗家が今の吟調に変化応用したものです。自分でよく続いたものだと感心しています。

変革の時代と言われながら世界の枠組みも国のありようも一向に見えてこない中で、暮らし方や考え方を変えつつある人が身近に着実に増えているという気がします。そのような人が基盤にしているのはむしろ昔から変わらない人間を見つめる眼だと思えるのです。

本当の変革には時代を超え、文化・文明を超えて変わらないものをよく知ることこそ不可欠と実感しています。伝統文化とは 地域社会の価値とは 芸術に親しむとは そして人生とは。「人生意気に感ず、功名誰か復論ぜん」



河野 俊一 理事 (大分県高等学校文化連盟)

平田オリザの「芸術立国論」を読んだ。特に印象に残ったのは、以下の部分だ。「モノが幸せにしたのは高度成長時代」で、今日では創造力こそが問われる、というところと「無駄、言いかえれば芸術のない世界は病んだ社会という所。確かに生産性だけを追及する在り方にはあちこちで歪みが生じている。だがやっかいなのは、その無駄が計ったり比べたりもしくは置き換えたりできにくいということだろう。

受ける側から考えると、その無駄を多岐にわたり能動的に選択できるよう要求し続けることが必要となるであろう。また、発信側から考えると、手間ひまを十分にかける覚悟をもつことだろう。すぐに結果が出る芸術など、信用できるはずがない。

徳丸 義久 理事 (大分県立芸術会館)

芸術会館は昭和59年9月に、県民の皆様の熱い期待の中で開館しました。以来、文化芸術の創造拠点、発信地として活動を続けて参りましたが、多様化するニーズに対応していくにはいささか中途半端な施設となっています。

しかしながら、このような状況にあって、今日まで活動を続けてこられたのも、愛好する皆様の温かいご支援、ご協力によるものと大変感謝をしているところです。

近年は、人々が生活の質の高さや心の豊かさを求めて、自ら積極的に文化活動に参加しようという機運が一層高まっております。このような時期に、皆様の活動の場である施設から選ばれた者として、微力ではありますが芸術の目的であります文化芸術の振興に向けて尽力して参りたいと思います。



平成15年度役員名簿

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名		
特別会員	河野 彰		常任理事	中野 幸和		理事 (団体代表)	湯原 恭子	おおいた洋舞連盟		
	仲町 謙吉			辛島 光義			清末 典子	県民演劇		
	野崎 哲			佐藤 朱音			河野 俊一	県高文連		
	秋月 睦男			理事 (団体代表)	伊勢 方信		大分県歌人クラブ	理事 (学識経験者)	佐々木均太郎	別府大学教授
	菅 久			猪俣 吞童	県香傘川柳連合会		狭間 久	大分合同新聞		
大崎 聡明		平 晟齋	県美協(書)	豊田 寛三	大分大学教授					
尾登 一信		河野 公記	県美協(写)	理事 (関連行政機関)	佐藤日出美	大分市教委				
木村 成敏		渡辺 恭英	県美協(美)	徳丸 義久	県芸術会館					
宮瀬 香多士		山本 勝彦	県音楽協会	事務局員						
十時 良		恵藤 美紀	県民オペラ協会	役職名	氏名	団体名				
会長	脇 正人	野仲 矢山	県三曲協会	事務局長	植本 諒司	文化振興課長				
副会長	中沢とおる	上田 耕作	県軽音楽連	事務局次長	泉 幸親	文化振興課長補佐				
	小長 久子	糸永 信義	県吹奏楽連盟	事務局職員	久保木真入	大分県美術協会				
監事	脇坂 秀樹	後藤 滉霊	日本詩道会		池田 リエ	事務局職員				
	首藤 悦爾	安東 陽	大分県民謡連盟	柴田 尚子	文化振興課主幹					
常任理事	麻生 和江	宮本 修	県合唱連盟	後藤 忠宏	文化振興課副主幹					
	倉田 絃文	花柳 笹之丞	県日本舞踊連							
		伊坂 香里	県民謡連盟							

事務局だより

大分県民芸術文化祭

第5回大分県民芸術文化祭が9月28日(日)オープニングステージで幕を開けます。

期間中多くの行事が予定されております。どうぞご覧ください。

提出書類について 提出期限10月31日(金)

- ・平成16年度補助事業計画書
- ・平成16年度海外派遣研修者推薦
- ・平成16年度芸術文化基金事業公演希望調査票
該当する団体は期日までに提出をお願いします。

訂正とお詫び

平成15年7月29日付け大芸振第39号で団体会員の皆様に「第19回国民文化祭・ふくおか2004」出演希望調査票をお送り致しましたが、提出期限が平成16年8月15日(金)となっておりました。正しくは平成15年8月15日(金)です。お詫びして訂正致します。詳しくは事務局のお問い合わせください。

会費納入のお願い

15年度会費の納入が済んでいない方は早めに納入してください。振込用紙(郵便局・手数料芸振負担)が必要な場合は事務局までご連絡ください。

新 会 員 紹 介

■団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
美術 36	米水津夢美術館友の会		小田 昭夫	小田 昭夫	絵画等美術作品の収集、展示及び若手芸術家の育成に取り組む、芸術文化の普及振興を図り、ひいては地域の活性化に寄与することを目的とする。	10名	平成15年 1月18日	絵画等美術品の収集をすすめ、地域の芸術文化振興のため県南を中心に学校や福祉施設などで出張美術館を開催。作新の展示、絵画鑑賞についての講演などを行っている。
音楽 90	ゼーレ管弦楽団		田村 朋弘	徳田 美和	大分県芸術文化短期大学の卒業生を中心にオーケストラを通して大分県民の文化の発展に寄与することを目的とする。	45名	平成13年 6月21日	2002年8月31日、第1回演奏会を県立総合文化センターグランシアタで開催。今年8月第2回演奏会開催。
演劇 16	穂田ほがらか劇団		甲斐 清光	甲斐恵美子	穂田地域の歴史、民話、文化をもとに演劇を通して大分県民の地域文化の発展に寄与することを目的とする。	18名	平成9年 10月	平成10年11月の旗揚げ公演以来、小学校、公民館、福祉施設で41回の公演を行っている。

■個人会員

氏 名	住 所	部 門
芳 村 孝次女		音 楽
後 藤 滉 靈		日 本 詩 道 会
河 野 俊 一		高 等 学 校 文 化 連 盟
徳 丸 義 久		県 立 芸 術 会 館
藤 間 美 貴 柳		舞 踊

お 知 ら せ

文化庁から来年度事業の募集が来ております。詳しくは文化振興課にお問い合わせください。

連絡先 097-536-1111 内2057 担当 佐倉

事業名 芸術団体人材育成支援事業

事業概要 芸術家・芸術団体を幅広く構成員とする協会、連盟等の団体及び伝統文化の保持団体等が行う芸術家等の育成や調査研究等の事業を支援します。

例：新人を対象としたコンクール、ワークショップなど

対象分野 現代舞台芸術(音楽・舞踊・演劇)、伝統芸能等、映画

提出書類 ①平成16年度「芸術団体人材育成支援事業」計画書(1部)

②主催団体の定款、寄付行為またはこれらに類する規約等(1部)

申請受付期間 平成15年10月14日(火)～17日(金) 必着